

Q9 リスト方式により実地棚卸を行う場合の留意点を教えてください。

A9 在庫管理システム上、どの品目をどこに置くかという情報を適切に登録することが不可欠になります。

解説

- ・倉庫に棚を設け、その棚ごとにロケーションコードを割り振り、そのロケーションコードを在庫管理システムに登録することで、在庫管理システムを見るだけで在庫保管場所の特定ができるため、リスト方式による実地棚卸が可能になります。
- ・在庫リストの一般的な書式イメージは以下の通りであり、在庫リストにカウント結果を記載することにより実地棚卸が行われます。

出力日時: 2015/3/31 17:00

在庫リスト

例えば、C列の棚の4段目の手前から8番目

ロケーション	コード	名称	規格	単位	帳簿数量	実際数量	……
C-0408							
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

- ・リスト方式を採用する場合、品目ごとにロケーションを固定することが原則です。その上で、棚ごとに受払カードを貼付して、手書きで入出庫数量及び残数量の補助的な記録を行うことがあります。この場合、実地棚卸は、在庫管理システムから出力された在庫リスト、棚に貼付された受払カード、現物の三者を相互に照合して行い、カウント終了後、受払カードにカウント済の旨の印をつける方法が一般的です。
- ・棚等に貼付される受払カードの一般的な書式イメージは以下の通りです。

受払カード

ロケーション	コード	名称	規格	単位

年月日	入庫	出庫	残高	摘要
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
2015/3/10	100		120	入庫#xxxx
2015/3/20		90	30	出庫#xxxx 2015/3/31カウント
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

- ・倉庫の稼働効率を上げるためにフリーロケーション（品目とロケーションをひも付けず、空いているロケーションに在庫を格納し、その都度格納したロケーションを在庫管理システムに入力する方法）を採用する場合があります。この場合、実地棚卸にあたっては、ロケーションコード順の在庫リストを出力して、その順番にカウント作業を実施していくなどの工夫が必要になります。